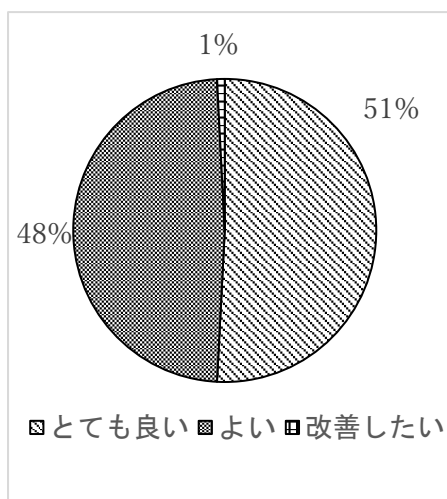
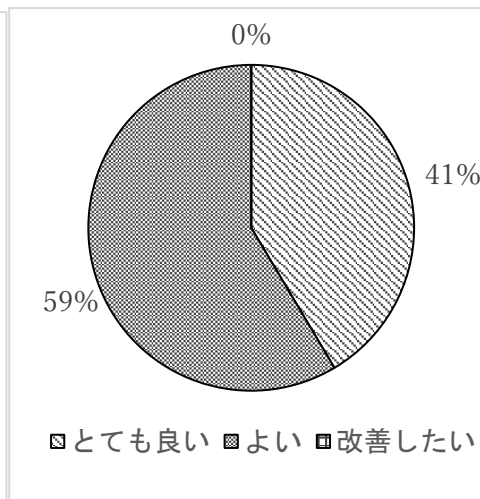


令和7年度 静教研夏季研究大会 社会科教育部 アンケート集約

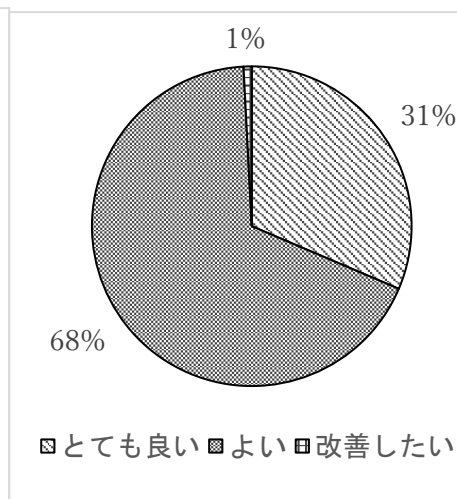
1 日程について



2 運営について



3 分科会について



4 本大会の研究主題について

- ・よいと思います。分科会の発表も、テーマに即していました。
- ・創り上げることの面白さが感じられる学びの機会を社会科が担う、そんな使命感が育む大会となったと思いました。
- ・「よりよい社会の在り方を創り上げる」という主題は、今後も大事にしたいと思います。ただ、学びを通して、自分には何ができるか、これからの社会で何が優先されるとよいかを考えることは難しく、いかに学習を自分事にしていくかが大事だと思いました。
- ・社会的事象に主体的に向き合わせるために、どんな素材があるのか探さなくてはならないのですが、なかなか時間がなくあるものを活用しています。あるもので、どのように社会的な態度を養うのか考えていきたいと思いました。主題が分かりやすく、よかったです

5 本大会について

(1) 運営面について

① 成果

- ・運営面はとても素晴らしく、参加してとても良かったです。ありがとうございます。
- ・これからの実践の参考になりました。来年度静教研の運営が当たっている地区なので、運営の仕方も参考になりました。
- ・暑さ対策は、継続して必要だと思います。運営も丁寧、親切にしていただけました。
- ・駅から近かったのが、酷暑の中でしたが安全に行けました。ありがとうございました。

② 課題

- ・どこの分科会にフォームを送ったのか覚えていない人が多かったのが、受付に全体名簿があるとよかったです。
- ・レジユメの格納場所をもう少しわかりやすくできるといいと感じました。

(2) 集合形式について

① 成果

- ・県の中央に位置する静岡市での集合開催で会員の皆さんと顔を合わせて研修ができ、とても充実した時間でした。
- ・集合開催だったので話し合いが盛り上がりよかったです。他地域の話も聞けて、勉強になりました。
- ・集合することで価値や情報の共有がしやすく有意義な研修となりました。
- ・対面で行うことができ、直接話げできたことが大変、勉強になりました。
- ・久しぶりの対面開催で、色々な方とお話が良かったです。
- ・グループでの話し合いで他地区の先生方と交流したお陰で色々な情報交換が出来ました。
- ・集合形式で行ったことで、直接やり取りをすることができ、活発な話し合いをすることができて良かったと感じました。

- ・来年度も対面形式で開催してほしい。

② 課題

- ・参集形式であったので、意見交換ができて良かったです。ただ今後、実践発表（協議なし）と講演をメインにするのであれば、オンライン形式でもよいと思いました。

（３）分科会について

① 実践発表について

- ・発表者の方の時間をかけた準備と実践で素晴らしい大会になりました。
- ・若い教員の実践のレベルが高く、よく考えられて練られた実践であり、刺激を受けました。
- ・やはり社会科の大きなねらいとしては、「良き市民」になることだと考えています。そのためには、社会で起こっている様々な事象に対して「自分事」として捉え、自分ならどうしていこうか、自分ができる事は何かないかなど考え、主体的に生きていく力を付けていくことだと思います。そこに社会科の教員である自分達が力を注ぐべきかと考えます。
- ・地域教材について、発掘する良さを実感しました。
- ・実践発表をいただいた先生は、社会科における見方・考え方をどのように子どもたちに効果的に育めるかをさまざまな視点や手立てで行っていて、大変勉強になりました。

② 分科会の持ち方について

- ・実践発表が素晴らしく、また、グループ協議も有意義でした。
- ・県内の先生方と意見交換をする場があり、地域を生かした取り組みや授業方法について学ぶことができました。とても有意義な研修でした。
- ・グループワークでは、他地域の方、小中学校入り混じったグループ編成を考えてくださり、多様な意見交換ができました。
- ・久しぶりの集合開催でした。分科会のグループ人数が少なく、最初は話がもつかに心配でしたが、司会の方が上手に話題を振ってくださり、たくさん意見交換ができました。社会科の先生方で集まる機会が減っている中、大変有意義な時間をもつことができました。

③ 課題

- ・午前中の実践発表と協議会が非常に有意義でした。せっかく県下の様々な地区の先生が集まっているので、もっと色々情報交換や話し合いがしたかったです。
- ・静岡市は7分科会やりましたが、地域の実態に応じて3分科会（小3.4年、小5.6年、中学）でもいいのではないかと思います。

（４）博物館との連携について

- ・地域施設とのコラボも、素晴らしい試みでした。お疲れ様でした。
- ・会場の博物館に魅力があり、そこと連携しての授業実践は多大な興味を惹かれました。
- ・場所も静岡駅周辺で歴史博物館を無料で見学できるのがありがたかったです！勉強になりました。
- ・分科会と全体会を、オンラインを使いながら効率よく運営されていてとても良かったです。また、帰りに静岡市歴史博物館へ足を運びましたが、そこでもとても有意義な時間を過ごさせていただきました。ありがとうございました。

（５）講演会について

- ・中村先生のご講義もとても興味深く面白かったです。
- ・講演内容も面白く聴きました。質問への答えがとても面白かったです。
- ・講演について、静岡で開催しているので、静岡の特産物に関する歴史について深く知る機会としては、適している内容であると思いました。ただ、現代的な教育課題や指導方法を取り上げても良いかとも思います。（特に若手から中堅のみなさんにとっては）

6 来年度に向けて

- ・集合対面形式でのよさが見られた大会となったが、地域の実態や旅費等の事情を考えると開催方法（日程・オンライン等）や内容（分科会数等）は担当地区の考えに合わせて柔軟に考えていくのが望ましい。

令和8年度 研究大会計画書

社会科教育 研究部

部長名 多々良 博之

開催日 (配信期間)	令和 8 年 8 月 5 日 (水) 午前・ 午後 ・終日		
開催方法	集合開催 ・ リアルタイム配信 ・オンデマンド配信 ハイブリッドの場合は複数に○を		
会 場	磐田市ながふじ学府小中一体校 438-080 静岡県磐田市加茂 243 (集合会場 ・ 配信会場 ・ 録画会場)		
大会テーマ	社会的事象に主体的に向き合い、よりよい社会のあり方を追究し、創り上げていこうとする子どもの育成		
内 容	集合：大会役員、磐周地区参加者、各地区発表関係者（発表者・助言者等） オンライン：その他の参加者 1 分科会 小学 3・4 年、小学 5 年、小学 6 年 中学地理、中学歴史、中学公民 計 6 分科会発表 ※発表 20 分、協議 45 分、指導講評 10 分（計 75 分） 2 全体会 基調講演（75 分）含む ※分科会数 （ 6 ） ※協議の場 （ 有 ） ・ 無 ）		
講 演	講師氏名	山田 大記	
	所属・肩書き	NPO 法人 ReFrame 副代表、ジュビロ磐田 CRO	
令和 9 年度研究大会の開催地域		令和 1 0 年度研究大会の開催地域	
田方地区		志太地区	
全国大会等の有無	令和 年度（全国・東海北陸・中部地区・関東甲信静）大会		
備 考	令和 8 年度 大会実行委員長（予定） 氏名（ 金原 辰夫 ） 校名（ 袋井市立今井小学校 ） E-mail（ imai-s@orange.ocn.ne.jp ） 令和 8 年度 大会事務局長（予定） 氏名（ 杉枝 友哉 ） 校名（ 袋井市立袋井北小学校 ） E-mail（ kita-s@orange.ocn.ne.jp ）		

※ 11月14日（金）✂切で事務局（seikyoken@iris.ocn.ne.jp）に提出。（現時点での案で可）

※ 書式は静教研ホームページに掲載してあります。

※ R8大会実行委員長説明会を12月中にZoomにて開催します。詳細は追って連絡します。

1 役員地区ローテーション

		令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	令和 10 年度	令和 11 年度
夏季大会開催地		静岡	磐周・湖西	三島・田方	志太	駿東・沼津
部長（校長 1）		静岡西	静岡西	静岡	静岡	静岡東
副部長（校長 2） 部長以外の地区		静岡 静岡東	静岡 静岡東	静岡東 静岡西	静岡東 静岡西	静岡 静岡西
事務長（教員 1）		静岡東	静岡西	静岡	静岡東	静岡西
副事務長（翌年事務長）		静岡西	静岡	静岡東	静岡西	静岡
幹 事	校長 1	副部長 が兼ねる	副部長 （静岡）	副部長 （静岡西）	副部長 （静岡東）	副部長 （静岡）
	教員 1	静岡西・静岡	副事務長が兼ねる			
会計主任		夏季大会開催地				
会計監査（校長 3）		各地区 1（部長は不可、副部長は可）				
編 集 委 員	編集主任 成果刊行物責任者	事務長が兼ねる				
	大会報告執筆者	夏季大会開催地				
	研究冊子執筆者	静岡東	静岡西	静岡	静岡東	静岡西
租税編集委員 6 各地区から教員 2×3		各地区から小 1 中 1		各地区から小 1 中 1		各地区から 小 1 中 1

※1 部長：任期は原則2年（異動等で不可能な場合は当該ブロックから選出）

※2 副部長：部長以外の2地区から選出。1名は幹事を兼ねる。会計監査を兼ねてもよい。

部長と副部長は研究成果物の原稿（各地区1点）を編集主任に提出する。

夏季研究大会開催地区と重なった場合は提出なしとする。

※3 事務長：任期は原則1年だが、前年度副事務長となるため実質2年。

※4 幹事：校長は副部長の1名、教員は副事務長とする。（現在、大きな役割はない）

※5 会計主任：夏季大会開催地から選出する。

会計監査：会計主任と会計監査は、第3回の委員研修会に参集する。

会計監査は、部長は兼ねない。副部長は兼ねてもよい。部長の地区と重なる場合は修正が必要。また静岡が部長のとき、静岡は部長以外の校長を選出する。

※6 編集委員：①編集主任（成果刊行物責任者）は事務長が担当する。編集委員に県事務局から送られてくる執筆依頼・原稿の書き方等を伝達し、原稿を回収する。

②大会報告執筆者は夏季大会開催地から選出し、「静教研だより」9月号（夏季大会報告）とHPに掲載する夏季研究大会のまとめを執筆する。

③研究冊子執筆者は「ときめき かかわり 未来へつなぐ」（2ページ分）の執筆を行う。部長、副部長、夏季大会開催地区と重ならない方がよい。

※7 全国小学校社会科大会発表の依頼の可能性はある。原則、前年度の夏季大会担当地区が発表する。全国中学校大会も同様。

2 租税教室の指導リーフレット編集委員

(1) 税務署のアドバイザー的な役割で租税教室用資料に対して助言をする。税務署担当者と個別に打合せあり、出向くことはない。各地区の小学校1人・中学校1人、計6人選出。

(2) 任期2年：令和9、11、13年度に選出する。（異動等で不可能な場合は当該地区から選出）

1 令和7年度以降の社会科学研究部 組織ローテーションについて

○ 部長は、大4地区のローテーションで回す。（スパンが長すぎるため）

①富士→②三島・田方→③駿東・沼津→④東豆・賀茂

○ 副部長（幹事を兼ねる場合もある）、会計監査は、基本ローテーションで回す。

（令和11年度以降副部長ローテと会計監査ローテがずれていく。）

①富士→②三島→③駿東→④沼津→⑤田方→⑥東豆→⑦賀茂

○ 租税編集委員は、今まで「2年目の副部長担当地区より小中各1名ずつ選出する。」としていたが、副部長不在の年もあるため、「2年目の会計監査担当地区より小中各1名ずつ選出する。」とする。

		令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
夏季大会開催地		静岡	磐周・湖西	三島・田方	志太	駿東・沼津
部長（校長1）		静岡西	静岡西	静岡	静岡	駿東・沼津
副部長（校長2） 部長以外の地区		富士※1	駿東	沼津	田方	
事務長（教員1）		東豆	静岡西	静岡	賀茂	静岡西
副事務長（翌年事務長）		静岡西	静岡	賀茂	静岡西	静岡
幹事	校長1	副部長（富士）	副部長（静岡）	副部長（静岡西）	副部長（田方）	副部長（静岡）
	教員1			副事務長（賀茂）		
会計主任				田方		駿東・沼津
会計監査（校長3）		副部長（富士）	駿東	沼津	田方	東豆
編集委員	編集主任 成果刊行物責任者				事務長（賀茂）	
	大会報告執筆者			田方		駿東・沼津
	研究冊子執筆者	富士	静岡西	静岡	三島	静岡西
租税編集委員6 各地区から教員2×3		駿東から小1中1		賀茂から小1中1※2		田方から 小1中1※2

※1 本来は「R6 富士、R7 三島」であったが、「R6 三島、R7 富士」と入れ替わっている。

※2 本来は「R9 田方、R11 賀茂」であるが、R9に田方に役割が集中するため入れ替える。

2 静教研夏季大会 東部地区「担当」ローテーション

	大会担当地区	駿東・沼津	富士	賀茂・東豆	三島・田方
令和3年度	賀茂・東豆	小5	小6	小3	小4（三島）
		中公民	中地理		中歴史（田方）
令和4年度	富士	小6	小3	小4	小5（田方）
		中地理		中歴史	中公民（三島）
令和6年度	駿東・沼津	小3	小5	小6	小4（田方）
			中公民	中地理	中歴史（三島）
令和9年度	三島・田方	小6	小4	小5	小3
		中地理	中歴史	中公民	

静西地区のローテーション

2025. 10. 09 更新

1 令和7年度以降の社会科研究部 組織ローテーションについて

○ 県部長及び事務長（副事務長）は

①志太→②磐周・湖西→③榛原・小笠の3地区ローテーション

「榛原か小笠か」及び「磐周か湖西か」は話し合いで調整

○ 他は①志太→②榛原→③小笠→④磐周→⑤湖西のローテーション

○ 租税編集委員は、今まで「1年目の副部長の地区から小中1名ずつ選出する。」としていたが、副部長不在の年もあるため、「1年目の会計監査の地区から小中1名ずつ選出する。」とする。

		令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
夏季大会開催地		静岡	磐周・湖西	三島・田方	志太	駿東・沼津
部長（校長1）		志太	志太	静岡	静岡	静岡（駿東・沼津）
副部長（校長2） 部長以外の地区		静岡 静岡	静岡 静岡	湖西	志太	榛原
事務長（教員1）		静岡（東豆）	志太	静岡	静岡（賀茂）	磐周・湖西
副事務長（翌年事務長）		志太	静岡	静岡（賀茂）	磐周・湖西	静岡
幹事	校長1	副部長 が兼ねる	副部長 （静岡）	副部長 （湖西）	副部長 （静岡）	副部長 （静岡）
	教員1	副事務長 （志太）			副事務長 （湖西）	
会計主任			磐周・湖西		志太	
会計監査（校長3）		湖西	榛原※1	志太※1	小笠	磐周
編集委員	編集主任 成果刊行物責任者		事務長 （志太）			事務長 （湖西）
	大会報告執筆者		磐周・湖西		志太	
	研究冊子執筆者	静岡	湖西※2	静岡	静岡	志太
租税編集委員6 各地区から教員2×3		湖西から小1中1		榛原から小1中1※1		磐周から 小1中1

【備考】※1 R8は志太が部長であるため、R9の榛原と入れ替え。租税委員は榛原のままとする。

※2 夏季大会、大会報告執筆が「磐周・湖西」である。R11の志太と入れ替えは×。

・異動等で任期2年目が不可能になった場合は、該当地区から選出する。

2 夏季大会実践発表担当地区

年 度	大会担当	志太	榛原	小笠	磐周	湖西
令和5年度	榛原・小笠	地理	小3・4	小6年	小5・歴史	公民
令和6年度			全国小学校社会科研究大会で原則発表			
令和8年度	磐周・湖西	小5・地理	歴史	公民	小6	小3・4
令和10年度	志太					

※ 夏季大会担当地区及び榛原、湖西には配慮する。（各1分科会程度）

ローテーション変更内容と仕事の概略

		令和 7 年度まで	令和 8 年度以降
夏季大会開催地		変更なし（事務局の決定による） 実行委員長（校長）と事務局長、会計主任、大会報告執筆者（教員）を選出。	
部長（校長 1）		変更なし 2 年任期。仕事内容の把握が一番大変。	
副部長（校長 2） 部長以外の地区		R 6 まで部長地区からも選出し 3 人を選出していた	R 7 から部長地区は選出せず、 2 人の選出とした。
		部長と副部長は研究成果物の原稿（各地区 1 点）を編集主任に提出する。地区の研修会等での成果物を上げる感じです。 夏季研究大会開催地区と重なった場合は提出なしとする。	
事務長（教員 1）		変更なし 委員研修会の運営、資料作りが主な仕事。部長との連携が重要。	
副事務長（翌年事務長）		変更なし 事務長の仕事内容をいちいち確認していけば翌年が楽になる。	
幹事	校長 1	※選出しなければならないが、1 人でよい。仕事はない。 R 6 まで部長、副部長以外から 3 人選出	
	教員 1	R 6 まで事務長、副事務長 を含めて 3 人選出	R 7 は副部長 2 人が兼任 R 8 以降は副部長から 1 名選出 選出地区を割り当てた。 副事務長を充てる
会計主任		変更なし（夏季大会開催地区から） おそらく、夏季大会の会計が一番大変だと思う。 その他の会計管理も書類づくり等が面倒と言えれば面倒と思われる。	
会計監査（校長 3）		※ 3 地区から一人ずつ校長を選出しなければならない。 副部長や幹事は兼任してもよいが、部長は兼任できない。	
		各地区から選出、副部長や幹事 が兼ねる場合もあった	副部長が兼ねてもよいが、 不在の年もあるため、 ローテーションを残した。
		第 3 回委員研修会に足を運び会計監査を行うだけ。	
編集委員	編集主任 成果刊行物責任者	夏季大会開催地区から 大会報告執筆者と兼ねていた	事務長とする
	大会報告執筆者	執筆はない。執筆されたものを集約したり HP にアップしたりする。 変更なし（夏季大会開催地区から） 「静教研だより」9 月号（夏季大会報告）と HP に掲載する夏季研究大会の まとめを執筆する。	
	研究冊子執筆者	変更なし（ローテーションによる） 「ときめき かかわり 未来へつなぐ」（2 ページ分）の執筆を行う。	
租税編集委員 6 各地区から教員 2 × 3		○年目の副部長の地区から選出	○年目の会計監査の地区から選出
		任期は 2 年。アドバイザー的な役割（感想、意見を出す）出張はない。	

新たな課題

「夏季大会開催地区」と「部長」「事務長」の地区が重なった場合は調整が必要である。

令和 11 年度・・・「駿東と沼津で役割分担」するか、「部長ローテ入れ替え」か。

確認事項

1 静教研全体への原稿提出物

- (1) 夏季大会報告(静岡)→作成済み
- (2) 研究冊子「ときめき かかわり 未来へつなぐ」執筆(富士)→作成済み

2 令和7年度 研究成果刊行(研究集録)の確認→静教研 HP に掲載

- (1) 各地区の実践(富士・志太)※部長・副部長
- (2) 夏季研究大会の記録(静岡)※上記1(1)と同様でよい。→作成済み
- (3) その他 必要と思われるもの
 - ・12月末までに事務長(宇佐美小:清野)に提出する。
 - ・教員や児童生徒の写真、氏名等の個人情報に注意する。
 - ・その他事情により、各地区の実践が掲載できない地区があってもよいとする。
(部長と相談する)

3 令和8年度に向けての役員選出(※は校長)

賀茂	担当校長 担当教員	(R9に副事務長)
田方	担当校長 担当教員	(R9 に夏季大会)
東豆	担当校長 担当教員	
三島	担当校長 担当教員	
駿東	担当校長 担当教員	副部長(会計監査)※、租税編集委員2年目
沼津	担当校長 担当教員	
富士	担当校長 担当教員	
静岡	担当校長 担当教員	副部長※、副事務長、租税編集委員2年目 (R9 に部長)
志太	担当校長 担当教員	部長※、事務長 (R10に夏季大会)
榛原	担当校長 担当教員	会計監査※
小笠	担当校長 担当教員	
磐周	担当校長 担当教員	夏季大会実行委員長※ 事務局長、会計主任、大会報告執筆者
湖西	担当校長 担当教員	研究冊子執筆者、租税編集委員2年目